

薬理と治療22年3月号で第1論文を訂正

Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療) vol.50 no.3 2022

【訂正】本誌掲載論文に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正いたします。(編集部)

● vol.49 no.8 2021

■ *Lactobacillus acidophilus* L-92 摂取による健常者の免疫指標と体調変化に関する自覚症状への影響について
—ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—

・p.1267 左段↑4行目。下線部および表3を追加。

(誤) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。

(正) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。摂取8週までの累積日数においても、「鼻水」「鼻詰まり」「咳」「喉の違和感」「痰、胸部圧迫感」「声のかれ」「頭がぼーっとする」「関節痛」「めまい、ふらつき」「動悸、息切れ」「なんとなく体調が悪い」「倦怠感」「ストレス」「不眠」「発汗」項目において、プラセボ摂取群と比較してL-92摂取群は有意に症状が緩和した(表3)。

表3 健康状態の累積日数(摂取8週まで)

項目	試験群	n	スコア	スコアの標準偏差	スコアの標準偏差	スコアの標準偏差	スコアの標準偏差	p値
鼻水	プラセボ	5992	5389	411	117	73	2	<0.001*
	L-92	5992	5505	426	54	7	2	
鼻詰まり	プラセボ	5992	5473	399	99	14	1	0.002*
	L-92	5992	5582	334	65	9	2	
くしゃみ	プラセボ	5992	5648	293	38	7	0	0.35
	L-92	5992	5705	229	35	2	0	
咳	プラセボ	5992	5654	286	34	8	0	<0.001*
	L-92	5992	5749	197	36	10	0	
喉の違和感	プラセボ	5992	5487	405	51	9	0	<0.001*
	L-92	5992	5558	357	50	21	6	
痰、胸部圧迫感	プラセボ	5992	5662	383	80	6	0	<0.001*
	L-92	5992	5739	198	31	19	5	
声のかれ	プラセボ	5992	5803	180	8	1	0	<0.001*
	L-92	5992	5848	123	22	3	0	
頭痛	プラセボ	5992	5853	98	30	11	0	0.14
	L-92	5992	5861	96	23	7	5	
なんとなく体調が悪い	プラセボ	5992	5842	113	31	5	1	0.040*
	L-92	5992	5883	91	14	4	0	
吐気	プラセボ	5992	5951	31	4	5	1	0.081
	L-92	5992	5923	52	6	5	3	
動悸	プラセボ	5992	5891	75	21	4	1	<0.001*
	L-92	5992	5974	17	1	0	0	
前部不快感	プラセボ	5992	5991	70	18	11	2	0.37
	L-92	5992	5909	61	17	4	1	
熱い	プラセボ	5992	5913	63	10	6	0	0.11
	L-92	5992	5932	54	3	1	0	
疲労感	プラセボ	5992	5734	207	44	7	0	0.15
	L-92	5992	5782	170	21	5	3	
発汗	プラセボ	5992	5849	123	14	5	3	0.002*
	L-92	5992	5807	140	38	5	3	
発熱が強い	プラセボ	5992	5921	62	6	2	1	0.31
	L-92	5992	5906	68	15	1	2	
めまい	プラセボ	5992	5839	24	12	1	0	<0.001*
	L-92	5992	5866	18	6	2	0	

Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療) vol.50 no.3 2022

試験群	基準値	プラセボ	5992	5992	60	30	0	0	<0.001*
同じくらい	プラセボ	5992	5796	27	0	1	0	0	0.026*
	L-92	5992	5844	125	15	6	2	2	
発熱が強い	プラセボ	5992	5764	176	44	4	2	2	0.011*
	L-92	5992	5818	146	20	6	2	2	
ストレス	プラセボ	5992	5783	135	70	4	0	0	<0.001*
	L-92	5992	5848	121	13	8	2	2	
不眠	プラセボ	5992	5903	34	15	0	0	0	0.021*
	L-92	5992	5918	36	10	6	2	2	
発汗	プラセボ	5992	5904	31	5	2	0	0	<0.001*
	L-92	5992	5981	11	0	0	0	0	

数字は累積日数を示す。*両群間に有意差を認めた項目を示す(P<0.05)。

・p.1269 左段↑4行目。下線部を追加。

(誤) pDC 増加傾向においては、自然免疫として鼻詰まりも免疫反応していること、ならびに副交感神経が同じ副交感神経の免疫系に対して、同時に抑制されたことをあわせて考慮すると、L-92 は pDC を活性化することで免疫機能を維持し、自覚症状の緩和に寄与したと考えられた。

(正) pDC 増加傾向においては、自然免疫として鼻詰まりも免疫反応していること、ならびに副交感神経が同じ副交感神経の免疫系に対して、同時に抑制されたことをあわせて考慮すると、L-92 は pDC を活性化することで免疫機能を維持し、自覚症状の緩和に寄与したと考えられた。

● vol.44 no.3 2016

■ Effect of partially hydrolyzed guar gum on postprandial hyperglycemia
—A randomized, double-blind, placebo-controlled crossover study—

・p.85 ABSTRACT の Methods の下線部。

(誤) Subjects ingested high-carbohydrate meal (115 g carbohydrate) together with either test supplement containing 4 g PHGG or 3 g dietary fiber or placebo supplement.

(正) Subjects ingested high-carbohydrate meal (115 g carbohydrate) together with either test supplement containing 4 g PHGG, or 3 g dietary fiber (Phosky method), or 3.2 g dietary fiber (ADAC chromatographic method) or placebo supplement.

・p.87 左段↑3行目の下線部。

(誤) In the present study, PHGG 4 g, Semimixing 3 g dietary fiber, and dextrin 4 g were chosen as the PHGG and placebo supplement, respectively.

(正) In the present study, PHGG 4 g (equivalent to 3 g of dietary fiber based on ADAC chromatographic method) or 3.2 g of dietary fiber based on ADAC chromatographic method, and dextrin 4 g were chosen as the PHGG and placebo supplement, respectively.

● vol.50 no.2 2022

■ 日本薬学会 20 年の歩み—2015 年以降の活動を中心に—

・p.176 表 6 (文末)

(誤) 5) Schulz KF, Altman DG, Moher D, CONSORT Group. CONSORT 2010 statement: updated guidelines for reporting parallel group randomised trials. *BMJ* 2010; 340: c332.

(正) 5) Altman DG, Gøtzsche PC. More informative abstracts. *Ann Intern Med* 1987; 107 (5): 790-4.

Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療) vol.50 no.3 2022

【訂正】本誌掲載論文に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正いたします。(編集部)

● vol.49 no.8 2021

■ *Lactobacillus acidophilus* L-92 摂取による健常者の免疫指標と体調変化に関する自覚症状への影響について

—ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—

・p.1267 左段↑4行目。下線部および表3を追加。

(誤) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。

(正) その他の項目は両群間で差は検出できなかった。摂取8週までの累積日数においても、「鼻水」「鼻詰まり」「咳」「喉の違和感」「痰、胸部圧迫感」「声のかれ」「頭がぼーっとする」「関節痛」「めまい、ふらつき」「動悸、息切れ」「なんとなく体調が悪い」「倦怠感」「ストレス」「不眠」「発汗」項目において、プラセボ摂取群と比較してL-92摂取群は有意に症状が緩和した(表3)。